

1 教育目標（令和7年度）

（1）本校の教育の目標

知・徳・体の調和のとれた教育を礎に、人間としての成長と発達を遂げていこうとする生徒を育成する。

〇めざす生徒像

「生きる力」をはぐくむ生徒

- ・ 夢や目標に向かって、自ら学び、自ら考える生徒【**確かな学力**】
- ・ 礼節を重んじ、他人を思いやる心や感動する心をもった生徒【**豊かな心**】
- ・ 生命を尊重し、心と体を鍛え、たくましく生きる生徒【**健やかな体**】

（2）経営方針

「みんなで築く誇れる中中」を合言葉に、特色があり魅力に富む学校づくりを実現する。

「夢へのチャレンジ！ やりきる中中スピリッツ」をキャッチフレーズに、自らの夢の実現に向け、諦めないで最後までやりきる生徒を育てる。

ア 確かな学力の育成をめざして

- ・ 常に授業改善に努め、基礎的・基本的な内容を確実に身につけ活用できる能力を育てる。
- ・ 指導法の工夫と教育機器の活用を通して、分かる授業、学びたくなる授業の実践に努める。
- ・ 現職教育の充実を図り、教職員の指導力の向上と専門性の確立に努める。

イ 豊かな心の育成をめざして

- ・ 豊かな感性や情操等を育むために、文化的活動を充実させ、その参画に努める。
- ・ 道徳の授業や体験活動を通して、生命を尊重し相手を思いやる心をはじめとする豊かな人間性の育成に努める。また、社会で活躍する卒業生を講師に招いて話を聴くことで、将来に向けての目標をもたせる。
- ・ 生涯にわたって社会的に自己実現できる力を養う指導に努める。特に、関係機関との連携による相談活動を充実させ、いじめの防止と不登校対策に取り組む。
- ・ 生徒が主体的に活躍できる場を保障し、存在感・自己肯定感をもたせる。

ウ 健やかな体の育成をめざして

- ・ 日頃の健康観察や保健指導を通して、健康への関心を高め、望ましい生活習慣の定着を図る。
- ・ 保健体育の授業や体づくり運動にかかわる活動への積極的な参加を促し、心と体を鍛え、体力・気力の充実を図る。
- ・ 障がいのある生徒の特性に応じた、きめ細かな特別支援教育の充実を努める。

エ 信頼される学校づくりをめざして

- ・ 学校運営協議会等を通して、小学校、家庭・地域との連携を深め、開かれた学校づくりに努める。
- ・ 各種たよりやウェブページを通して積極的に情報発信を行い、地域・保護者からの学校評価を経営に生かすように努める。
- ・ 施設や設備の安全管理と防災体制の充実を図り、安全で潤いのある教育環境づくりに努める。

（3）本年度の重点努力目標

ア 深い学びを実現するために学習指導法を工夫し、学習意欲の喚起、学習内容の定着を図る。また、読取る力（リーディングスキル）を高め、自分の考えをもち、それをアウトプットする場面を設定し、読解力や思考力の向上に努める。

イ クロームブック（タブレット端末）を有効に活用した学習活動の充実を図る。

ウ 道徳の授業、学活、総合の時間等に自他の立場で考える活動を取り入れ、思いやりの心を育てる。

エ QU検査、生活アンケートや相談活動等を通して生徒理解を進め、よりよい人間関係の構築と居心地のよい集団づくりに努める。

オ 教職員による日常の見守りと温かい言葉かけを大切にするとともに、各々の生徒に関する情報共有の充実を図り、いじめ・不登校の防止に努める。

カ 教職員や生徒にとって持続可能な部活動を行い、心身を鍛え、励まし合える人間関係づくりに努める。

キ 働き方改革に係る業務改善を推進する。日常及び年間の業務内容の見直しに一層取り組み、教職員が物理的・精神的にゆとりをもって生徒と向かい合い、教育実践が進められるように努める。